

本 会 記 事

I. 平成 25 年度第 2 回評議員会議事録

日 時：平成 26 年 6 月 1 日（日）15:00～17:30

場 所：札幌コンベンションセンター（札幌市白石区東
札幌六条 1 丁目 1）

評議員出席者：

秋光和也，阿久津克己，畔上耕児，古屋廣光，濱本 宏，
曳地康史，平塚和之，石黒 潔，岩井 久，景山幸二，
川北一人，北 宜裕，近藤則夫，久保康之，桑田 茂，
増田 税，難波成任，夏秋啓子，夏秋知英，西口正通，
大木 理，大島一里，奥野哲郎，佐野輝男，高橋英樹，
高橋賢司，高松 進，瀧川雄一，田中文夫，田代暢哉，
寺岡 徹，土佐幸雄，柘植尚志，月星隆雄，吉川信幸，
金山晋治，百町満朗会長，土屋健一副会長，根岸寛光庶
務幹事長，有江 力庶務副幹事長

以上評議員 40 名（定数 55 名，欠席：相野公孝，荒瀬 榮，
築尾嘉章，廣岡 卓，石川成寿，小泉信三，松永 礼，
森田健二，仲川晃生，西尾 健，尾谷 浩，白石友紀，
津田新哉，對馬誠也，長谷川裕）

幹事・事務局出席者：

小松 健会計幹事，大里修一副会計幹事，芦澤武人庶務
幹事，奥田 充庶務幹事，松原美穂事務局員，渡辺玲子
事務局員

1. 審議事項

(1) 平成 26 年度日本農学進歩賞候補者について（百町
会長）

小松 健氏を推薦することを提案し，承認された。

(2) 平成 26 年度定期総会資料の検討

1) 平成 25 年度会務報告

①庶務報告（芦澤庶務幹事）

会員数，会員の逝去，学会報発行実績，役員会・委員会
開催状況，総会・大会開催状況，部会開催状況，談話会・
研究会・教育プログラム等開催状況，名誉及び永年会員の
推挙，学会賞，学術奨励賞及び論文賞並びに平成 26 年度
副会長選挙結果について報告した。

②会計報告（小松会計幹事）

一般会計収支，貸借対照表，正味財産増減計算，財産目
録について報告した。

③会計監査報告（夏秋啓子会計監査）

会計監査の結果，収支決算が適正であることを報告した。

④学会報編集報告（岩井原著編集委員長）

和文誌及び英文誌の編集報告を行った。昨年度に比べて
英文誌の投稿数が増加していることが報告された。特に，
海外からの投稿が増えているが，採択率は低いことが報告
された。

【質疑応答】

論文のリジェクト率が高い理由が問われ，具体的デー
タが不十分である等，編集方針に沿わないものを不採択
としている旨の回答がなされた。また，英文誌のオープ
ンアクセス化を検討すべきであるとの意見が出された
が，非会員との差別化や発行会社（Springer）との契約上，
直ちに無償で公開することは困難であるが，今後，検討
していきたい旨の回答がなされた。

以上の平成 25 年度会務報告は一括して承認された。

2) 平成 26 年度会務案

①行事案（奥田庶務幹事）

学会創立 100 周年記念式典等の開催，学会報の発行，大
会，部会，談話会及び研究会等の開催，学会賞，学術奨励
賞及び論文賞等の選考，名誉及び永年会員の推挙並びに平
成 27 年度副会長選挙を行うことが提案された。

②予算案（大里副会計幹事）

会費収入を中心とする事業活動収入並びに会報刊行及び
大会等の開催を中心とする事業支出に関する一般会計予算
案が提案された。前年と大きく異なる点として，学術事業
安定化基金の一部及び 100 周年記念事業特別基金を取り
崩し，100 周年記念事業実施に充当することが提案された。

③学会報編集計画案（岩井原著編集委員長）

英文誌 6 報，和文誌 4 報に加え，100 周年事業に係る特
別号を，鹿児島大学を編集事務局として発行することが提
案された。また，原著編集委員の異動等により，津野和宣
氏及び善林 薫氏に代わり，川口 章氏及び兼松聡子氏を
委員とすることが提案された。

3) 平成 26 年度役員および委員（根岸庶務幹事長）

平成 26 年度役員および委員について提案された。

以上の，平成 26 年度会務案，役員および委員は一括し
て承認された。

(3) 大会開催地について

1) 平成 27 年度大会開催地の決定（桑田 茂次期大会
委員長）

平成 27 年 3 月 29～31 日に明治大学リパティータワー（東
京都千代田区）にて開催することが紹介され，承認された。

2) 平成 28 年度大会開催地について（根岸庶務幹事長）

中国四国地域にて開催されることが承認された。

2. 報告事項

(1) 学会報編集委員会（岩井原著編集委員長）

平成26年度定期総会資料の検討にて報告したとおり。

(2) 病名委員会（根岸幹事長）

仲川病名委員長が欠席のため根岸幹事長より報告された。2013年度日本植物病名目録追録の編さんについて報告された。学会及び研究会等で発表された新病害等の拾い出し作業の委託経費として、平成26年度に20万円を計上したい旨の提案がなされ、承認された。平成26年度より委員長を富岡啓介氏に交代することが報告された。

(3) 100周年記念事業実行委員会（難波実行委員長）

本事業の進捗について報告された。100周年記念シンポジウムでは、「植物病理学：新たな100年への羅針盤」と題して、15題のテーマを設定し、それぞれにコーディネータ1名と演者2名を配し、コーディネータは今後演者と相談しつつ講演内容を決めていくことが報告された。また、100周年記念誌編集部が担っているレビュー誌発行について、題名が「日本植物病理学100年史」と正式決定されたことから出版時には本部会の名称を「日本植物病理学100年史編集委員会」とすることが議決された旨が報告された。

(4) 国際対応委員会（夏秋啓子委員長）

第3回日韓合同シンポジウムのパンフレットが配布され、参加の呼びかけが行われた。同シンポジウムへの参加人数を把握するため、出席予定者の集計を各評議員に依頼することを予定している。また、学生交換事業について、本年度はニュージーランド及びオーストラリアから各1名の学生の受け入れを決定し、1名はすでに実施済み。しかし、1名は研究日程の都合から平成26年度の訪日を希望しているが、当該年度は日本から派遣する年であり対応を協議中であるとの報告がなされた。

第5回アジア植物病理学会に参加予定の曳地氏より、次々回（2022年）の開催国として我が国が打診される可能性が高いため、受け入れの可否について幹事会で検討して欲しい旨の要請がなされた。対応を幹事会に一任し、11月までに返答を行うことでも了承された。

(5) 教育プログラム推進委員会（佐野輝男氏）

平成26年度植物病害診断教育プログラムは、弘前大学で開催されることが報告された。

(6) 技術士対応委員会（濱本技術士対応委員会委員）

現在までの技術士合格者が82名であり、100周年に100名超の合格者を目指して、試験対策セミナーを大会中に開催することが報告された。

(7) 会員の逝去について（根岸幹事長）

本会冒頭にご紹介したとおり。なお、永年、名誉会員の動静について、事務局で把握しきれない場合があるため、適宜ご連絡をお願いしたい。

3. その他

将来問題検討委員会（難波委員長）より、若手の入会促進に向けた活動を積極的に展開すべきとの意見打診が行われた。一例として、出前講座やホームページの一般向けコンテンツの拡充などが提案された。大学等の授業の一環として研究会、シンポジウム等を聴講する場合、学部生会員になって頂くなどの工夫が紹介された。

II. 総会資料

II-1. 平成25年度会務報告

1. 庶務報告

(1) 会員数 計1,892名（平成26年1月1日現在）

名誉会員	34名
永年会員	69名
正会員	1,279名（内 正会員B 62名、 外国会員 21名）

学生会員	265名
学部生会員	2名
準会員	134団体
賛助会員	41社（109口）

(2) 会員のご逝去

日浦運治氏	平成25年9月に、数年前にご逝去との連絡
伊東茂久氏	平成25年3月22日
鈴木直治氏	平成25年7月18日
生井恒雄氏	平成25年7月27日
田濱康夫氏	平成25年8月21日
大畑貫一氏	平成25年9月6日
島本 功氏	平成25年9月28日
與良 清氏	平成25年10月29日
桑田博隆氏	平成25年12月6日

(3) 学会報

発行部数	英文誌：第79巻1～6号	各2,000部 (計12,000部)
	和文誌：第79巻1～4号	各2,050部 (計8,200部)
頒布部数	英文誌：国内（1～6号）	各1,703部 (計10,218部)
	国外（1～6号）	各81部 (計486部)

計 各 1,784 部
(計 10,704 部)

[内 国外交換 43, 国外寄贈 7, 名誉会員 32, 永年会員 13, 賛助会員 63, 準会員 136 (計 294)]

和文誌 : 国内 (1~4 号) 各 1,862 部
(計 7,448 部)

国外 (1~4 号) 各 64 部
(計 256 部)

計 各 1,926 部
(計 7,704 部)

[内 国内交換 5 / 国内寄贈 7 / 広告主 7 / 名誉会員 32 / 永年会員 63 / 賛助会員 63 / 準会員 136 (計 313)]

(4) 役員会・委員会開催状況

第 1 回評議員会	平成 25 年 11 月 23 日
第 2 回評議員会	平成 26 年 6 月 1 日
幹事会	平成 25 年 4 月 27 日
	7 月 27 日
	9 月 21 日
	11 月 23 日
	平成 26 年 2 月 15 日
	4 月 26 日
	6 月 1 日
編集委員会	平成 26 年 6 月 1 日
賞選考委員会	平成 25 年 9 月 21 日
功績者推薦委員会	平成 25 年 11 月 15 日
選挙管理委員会	平成 25 年 11 月 23 日
病名委員会	平成 26 年 6 月 2 日
学会ニュース編集委員会	平成 25 年 5 月 9 日
教育プログラム推進委員会	平成 25 年 12 月 14 日
技術士対応委員会	平成 25 年 7 月 23 日
5 学会技術士育成推進委員会	平成 25 年 10 月 7 日

(5) 総会・大会開催状況

総 会 平成 25 年 3 月 27 日
岐阜大学 (岐阜市)

大 会 平成 25 年 3 月 27~29 日
岐阜大学 (岐阜市)

参加者 : 約 850 名, 一般講演 : 387 題

(6) 部会開催状況

北海道部会
平成 25 年 10 月 17~18 日 かでる 2.7 (札幌市)
参加者 : 96 名, 一般講演 : 20 題, 談話会講演 : 4 題

東北部会
平成 25 年 10 月 28~29 日 にぎわい交流館 (秋田市)
参加者 : 86 名, 一般講演 : 30 題, 公開シンポジウ

ム講演 : 3 題

関東部会

平成 25 年 9 月 12~13 日 法政大学市ヶ谷キャンパス
(千代田区)

参加者 : 179 名, 一般講演 : 38 題, 特別講演 : 1 題

関西部会

平成 25 年 9 月 26~27 日 岡山大学 50 周年記念館
(岡山市)

参加者 : 244 名, 一般講演 : 56 題, ポスター発表 :
55 題

九州部会

平成 25 年 11 月 13~14 日 KKR ホテル熊本 (熊本市)

参加者 : 100 名, 一般講演 : 21 題, 特別講演 : 1 題,
シンポジウム講演 : 1 題

(7) 談話会・研究会・教育プログラム等開催状況

第 13 回植物病原菌類談話会

平成 25 年 3 月 29 日 岐阜大学 (岐阜市)

参加者 : 126 名, 講演題数 : 4 題, 話題提供 : 1 題

第 23 回殺菌剤耐性菌研究会シンポジウム

平成 25 年 3 月 30 日 岐阜大学 (岐阜市)

参加者 : 154 名, 講演題数 : 6 題

第 12 回植物ウイルス病研究会

平成 25 年 3 月 30 日 岐阜大学 (岐阜市)

参加者 : 130 名, 講演題数 : 11 題

第 48 回植物感染生理談話会

平成 25 年 8 月 19~21 日 北陸粟津温泉 (小松市)

参加者 : 78 名, 講演題数 : 15 題, ポスター発表 :
28 題

第 9 回植物病害診断教育プログラム

平成 25 年 8 月 5~9 日 筑波農林研究交流センター
(つくば市)

参加者 : 30 名, 講師 : 27 名

EBC 研究会ワークショップ 2013 (第 9 回)

平成 25 年 9 月 18 日 クミアイ化学工業 (江東区)

参加者 : 86 名, 講演題数 : 6 題

第 7 回植物病害診断研究会

平成 25 年 9 月 27~28 日 岡山大学 (岡山市)

参加者 : 101 名, 講演題数 : 8 題

(8) 名誉会員の推挙

第 1 回評議員会で次の方を推挙することが決定された
(ABC 順).

奥田誠一氏, 高浪洋一氏

(9) 永年会員の推挙

第 1 回評議員会で次の方を推挙することが決定された

(ABC 順).

神澤克一氏, 木村俊夫氏, 齋田裕行氏, 大澤高志氏,
坂本 庵氏

(10) 平成26年度学会賞

第1回評議員会で次の3氏に授賞することが決定された (ABC 順).

川北一人氏 「植物の防御応答における NO 機能に関する研究」

増田 税氏 「キュウリモザイクウイルスとそのサテライト RNA の分子生物学的研究」

澤田宏之氏 「*Agrobacterium* 属および *Pseudomonas* 属植物病原細菌の分類と進化に関する研究」

(11) 平成26年度学術奨励賞

第1回評議員会で次の3氏に授賞することが決定された (ABC 順).

藤川貴史氏 「カンキツグリーンニング病原細菌の早期高感度検出技術に関する研究」

望月知史氏 「植物ウイルスの発病機構に関する分子組織化学的研究」

竹田篤史氏 「RNA サイレンシングによるウイルス抵

抗性機構及びウイルスによる RNA サイレンシング抑制機構に関する研究」

(12) 平成26年度論文賞

第1回評議員会で次の2件に授賞することが決定された (掲載順).

Uematsu, S., Kageyama, K., Moriwaki J., Sato T. *Colletotrichum carthami* comb. nov., an anthracnose pathogen of safflower, garland chrysanthemum and pot marigold, revived by molecular phylogeny with authentic herbarium specimens. *Journal of General Plant Pathology* 78(5): 316–330 (2012).

Sugawara, K., Himeno, M., Keima, T., Kitazawa, Y., Maejima, K., Oshima, K., Namba, S. Rapid and reliable detection of phytoplasma by loop-mediated isothermal amplification targeting a housekeeping gene. *Journal of General Plant Pathology* 78(6): 389–397 (2012).

Journal of General Plant Pathology 78(6): 389–397 (2012).

(13) 平成26～27年度評議員選挙

平成25年10月施行 (開票は10月26日)

(14) 平成26年度副会長選挙

平成25年10月施行 (開票は10月26日), 寺岡 徹氏が選出された。

2. 平成 25 年度会計報告

(1) 一般会計収支計算書 (平成 25 年 1 月 1 日から平成 25 年 12 月 31 日まで)

(単位: 円)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異
I 事業活動収支の部			
1. 事業活動収入			
会費収入	22,187,000	21,678,360	508,640
正会員会費収入	12,695,000	12,660,000	35,000
学生会員会費収入	1,770,000	1,419,000	351,000
学部生会員会費収入	20,000	10,000	10,000
外国会員会費収入	162,000	149,360	12,640
準会員会費収入	2,040,000	2,040,000	0
賛助会員会費収入	5,500,000	5,400,000	100,000
会報刊行収入	6,010,000	5,772,689	237,311
頒布収入	350,000	348,200	1,800
広告料収入	160,000	243,000	△ 83,000
著者負担金収入	5,500,000	5,181,489	318,511
事業収入	15,072,220	14,686,389	385,831
大会収入	8,000,000	7,678,250	321,750
部会収入	3,084,100	2,977,452	106,648
談話会・研究会収入	3,388,120	3,046,687	341,433
教育プログラム収入	600,000	984,000	△ 384,000
研究成果公開促進費収入	2,600,000	2,600,000	0
雑収入	640,000	618,478	21,522
預金利息収入	40,000	24,732	15,268
雑収入	600,000	593,746	6,254
事業活動収入計	46,509,220	45,355,916	1,153,304
2. 事業活動支出			
会報刊行費支出	22,000,000	20,391,385	1,608,615
印刷製本費支出	17,200,000	14,813,346	2,386,654
編集費支出	4,800,000	5,578,039	△ 778,039
事業支出	18,331,358	17,263,143	1,068,215
大会支出	9,000,000	9,312,000	△ 312,000
部会支出	3,974,100	1,747,867	2,226,233
談話会・研究会支出	4,257,258	5,462,560	△ 1,205,302
教育プログラム支出	1,100,000	740,716	359,284
学術奨励関係費支出	1,330,000	723,616	606,384
国際学術交流費支出	300,000	279,000	21,000
情報電子化費支出	1,700,000	1,574,500	125,500
HP 充実費支出	360,000	360,000	0
情報維持費支出	1,340,000	1,214,500	125,500
男女共同参画支援費支出	200,000	0	200,000

負担金支出	750,000	431,250	318,750
JABEE 負担金支出	50,000	50,000	0
農学会負担金支出	150,000	131,250	18,750
国際植物病理学会負担金支出	300,000	0	300,000
日本微生物学連盟負担金支出	100,000	100,000	0
国際植物保護学会負担金支出	50,000	50,000	0
植物保護科学連合負担金支出	100,000	100,000	0
事業運営費支出	2,400,000	2,224,471	175,529
会議費支出	750,000	674,691	75,309
旅費交通費支出	1,500,000	1,496,280	3,720
各種委員会関係費支出	150,000	53,500	96,500
管理費支出	4,960,000	5,333,757	△ 373,757
通信運搬費支出	500,000	581,465	△ 81,465
消耗品費支出	200,000	283,679	△ 83,679
事務管理費支出	3,310,000	3,310,000	0
印刷費支出	300,000	330,329	△ 30,329
外部監査管理費支出	150,000	126,000	24,000
雑支出	500,000	702,284	△ 202,284
100周年記念事業支援金支出	2,000,000	367,100	1,632,900
事業活動支出計	53,971,358	48,588,222	5,383,136
事業活動収支差額	△ 7,462,138	△ 3,232,306	△ 4,229,832
II 投資活動収支の部			
1. 投資活動収入			
特定資産取崩収入	2,500,000	2,500,000	0
学術事業安定化基金取崩収入	2,500,000	2,500,000	0
投資活動収入計	2,500,000	2,500,000	0
2. 投資活動支出			
投資活動支出計	0	0	0
投資活動収支差額	2,500,000	2,500,000	0
III 財務活動収支の部			
当期収支差額	△ 4,962,138	△ 732,306	△ 4,229,832
前期繰越収支差額	5,341,013	5,341,013	0
次期繰越収支差額	378,875	4,608,707	△ 4,229,832

収支計算書に対する注記

1. 資金の範囲について

資金の範囲には、現金預金、未収金・未払金、仮払金・前受金及び預り金を含めている。

なお、前期末及び当期末残高は、下記2に記載するとおりである。

2. 次期繰越収支差額に含まれる資産および負債の内訳

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期末残高
現金預金	14,540,013	11,588,983
未収金	1,148,000	1,065,000
仮払金	0	1,000,000
合 計	15,688,013	13,653,983
未払金	1,186,000	290,000
前受金	9,161,000	8,755,276
預り金	0	0
合 計	10,347,000	9,045,276
次期繰越収支差額	5,341,013	4,608,707

(2) 貸借対照表 (平成 25 年 12 月 31 日現在)

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	11,588,983	14,540,013	△ 2,951,030
未収金	1,065,000	1,148,000	△ 83,000
仮払金	1,000,000	0	1,000,000
流動資産合計	13,653,983	15,688,013	△ 2,034,030
2. 固定資産			
特定資産			
学術事業安定化基金	23,021,662	25,521,662	△ 2,500,000
学術奨励基金	17,027,595	17,027,595	0
国際学術交流基金	9,649,267	9,649,267	0
100周年記念事業特別基金	7,600,000	7,600,000	0
特定資産合計	57,298,524	59,798,524	△ 2,500,000
固定資産合計	57,298,524	59,798,524	△ 2,500,000
資産合計	70,952,507	75,486,537	△ 4,534,030
II 負債の部			
流動負債			
未払金	290,000	1,186,000	△ 896,000
前受金	8,755,276	9,161,000	△ 405,724
流動負債合計	9,045,276	10,347,000	△ 1,301,724

負債合計	9,045,276	10,347,000	△1,301,724
III 正味財産の部			
一般正味財産	61,907,231	65,139,537	△3,232,306
正味財産合計	61,907,231	65,139,537	△3,232,306
負債及び正味財産合計	70,952,507	75,486,537	△4,534,030

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

消費税等の会計処理は税込み方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
学術事業安定化基金	25,521,662	0	2,500,000	23,021,662
学術奨励基金	17,027,595	0	0	17,027,595
国際学術交流基金	9,649,267	0	0	9,649,267
100周年記念事業特別基金	7,600,000	0	0	7,600,000
合 計	59,798,524	0	2,500,000	57,298,524

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
特定資産				
学術事業安定化基金	23,021,662	(0)	(23,021,662)	(0)
学術奨励基金	17,027,595	(0)	(17,027,595)	(0)
国際学術交流基金	9,649,267	(0)	(9,649,267)	(0)
100周年記念事業特別基金	7,600,000	(0)	(7,600,000)	(0)
合 計	57,298,524	(0)	(57,298,524)	(0)

(3) 正味財産増減計算書 (平成 25 年 1 月 1 日から平成 25 年 12 月 31 日まで)

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取会費	21,678,360	22,219,712	△ 541,352
正会員会費	12,660,000	13,115,000	△ 455,000
学生会員会費	1,419,000	1,385,000	34,000
学部生会員会費	10,000	0	10,000
外国会員会費	149,360	149,712	△ 352
準会員会費	2,040,000	2,070,000	△ 30,000
賛助会員会費	5,400,000	5,500,000	△ 100,000
会報刊行収益	5,772,689	6,274,718	△ 502,029
頒布収益	348,200	375,800	△ 27,600
広告料収益	243,000	210,000	33,000
著者負担金収益	5,181,489	5,688,918	△ 507,429
事業収益	14,686,389	27,686,096	△ 12,999,707
大会収益	7,678,250	13,088,154	△ 5,409,904
部会収益	2,977,452	4,922,773	△ 1,945,321
談話会・研究会収益	3,046,687	5,748,084	△ 2,701,397
教育プログラム収益	984,000	945,030	38,970
日韓シンポジウム収益	0	2,982,055	△ 2,982,055
研究成果公開促進費収益	2,600,000	2,700,000	△ 100,000
雑収益	618,478	613,271	5,207
預金利息収益	24,732	38,410	△ 13,678
雑収益	593,746	574,861	18,885
経常収益計	45,355,916	59,493,797	△ 14,137,881
(2) 経常費用			
会報刊行費	20,391,385	19,728,922	662,463
印刷製本費	14,813,346	15,282,539	△ 469,193
編集費	5,578,039	4,446,383	1,131,656
事業費	17,263,143	26,292,677	△ 9,029,534
大会	9,312,000	14,273,558	△ 4,961,558
部会	1,747,867	3,973,165	△ 2,225,298
談話会・研究会	5,462,560	4,505,353	957,207
教育プログラム	740,716	1,480,730	△ 740,014
日韓シンポジウム	0	2,059,871	△ 2,059,871
学術奨励関係費	723,616	1,134,782	△ 411,166
国際学術交流費	279,000	180,000	99,000
情報電子化費	1,574,500	1,697,000	△ 122,500
HP 充実費	360,000	360,000	0

情報維持費	1,214,500	1,337,000	△ 122,500
男女共同参画支援費	0	245,340	△ 245,340
負担金	431,250	825,600	△ 394,350
JABEE 負担金	50,000	50,000	0
農学会負担金	131,250	130,350	900
国際植物病理学会負担金	0	395,250	△ 395,250
日本微生物学連盟負担金	100,000	100,000	0
国際植物保護学会負担金	50,000	50,000	0
植物保護科学連合負担金	100,000	100,000	0
事業運営費	2,224,471	2,437,029	△ 212,558
会議費	674,691	756,225	△ 81,534
旅費交通費	1,496,280	1,561,360	△ 65,080
各種委員会関係費	53,500	119,444	△ 65,944
管理費	5,333,757	5,010,432	323,325
通信運搬費	581,465	509,971	71,494
消耗品費	283,679	161,980	121,699
事務管理費	3,310,000	3,297,000	13,000
印刷費	330,329	135,030	195,299
外部監査管理費	126,000	133,250	△ 7,250
雑費	702,284	773,201	△ 70,917
100周年記念事業支援金	367,100	533,388	△ 166,288
経常費用計	48,588,222	58,085,170	△ 9,496,948
当期経常増減額	△ 3,232,306	1,408,627	△ 4,640,933
2. 経常外増減の部			
当期一般正味財産増減額	△ 3,232,306	1,408,627	△ 4,640,933
一般正味財産期首残高	65,139,537	63,730,910	1,408,627
一般正味財産期末残高	61,907,231	65,139,537	△ 3,232,306
II 指定正味財産増減の部	0	0	0
III 正味財産期末残高	61,907,231	65,139,537	△ 3,232,306

(4) 財産目録 (平成 25 年 12 月 31 日現在)

			(単位：円)
貸借対照表科目		場所・物量等	金額
(流動資産)			
現金		手元保管	171, 686
預金		普通預金	7, 719, 943
		三井住友銀行白山支店	3, 695, 315
		三菱東京 UFJ 銀行駒込支店	2, 259, 212
		ジャパンネット銀行	769, 495
		CITIBANK	628, 759
		鹿児島銀行	105, 880
		佐賀共栄銀行	261, 282
		部会等預金	3, 239, 925
振替貯金		ゆうちょ銀行	457, 429
未収金		準会員会費	1, 065, 000
仮払金		大会	1, 000, 000
流動資産合計			13, 653, 983
(固定資産)			
特定資産			
学術事業安定化基金		三菱東京 UFJ 銀行 定期預金	23, 021, 662
		三井住友銀行白山 支店定期 2	16, 964, 269
		ジャパンネット銀行定期	51, 393
学術奨励基金		三井住友銀行白山支店定期	6, 006, 000
国際学術交流基金		三井住友銀行白山支店定期	17, 027, 595
		三井住友銀行白山支店定期	17, 027, 595
		ジャパンネット銀行定期	9, 649, 267
100 周年記念事業特別基金		三井住友銀行白山支店定期	8, 446, 584
		ジャパンネット銀行定期	1, 202, 683
		ジャパンネット銀行定期	7, 600, 000
		ジャパンネット銀行定期	7, 600, 000
固定資産合計			57, 298, 524
資産合計			70, 952, 507
(流動負債)			
未払金			290, 000
前受金			8, 755, 276
正会員会費			8, 180, 000
学生会員会費			510, 000
外国会員会費			64, 276
学部生会員会費			1, 000
流動負債合計			9, 045, 276
負債合計			9, 045, 276
正味財産			61, 907, 231

3. 平成25年度会計監査報告

平成25年度日本植物病理学会収支決算について、平成26年2月13日に岡田事務所 岡田 茂公認会計士の監査を受け、決算書類が「我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して、日本植物病理学会の平成25年12月31日をもって終了する会計年度の収支及び正味財産増減の状況並びに同事業年度末日現在の財産状態をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。」との監査報告書を受けました。その後、学会会計監査の結果、収支決算が確実なることを確認しました。

平成26年3月18日

会計監査

桑 田 茂 ⑩
夏 秋 啓 子 ⑩
西 尾 健 ⑩

4. 平成25年度学会報編集報告

項 目	ページ数											
	JGPP (英文誌)							日植病報 (和文誌)				
	1号 1月	2号 3月	3号 5月	4号 7月	5号 9月	6号 11月	計	1号 2月	2号 5月	3号 8月	4号 11月	計
[ページ数内]												
総説	…	…	…	25 (3)	36 (3)	23 (2)	84 (8)	…	…	…	6 (1)	6 (1)
テクニク	…	…	…	6 (1)	…	…	6 (1)	…	…	…	…	0
原著論文	54 (5)	51 (6)	29 (4)	21 (2)	25 (2)	29 (3)	209 (22)	9 (1)	9 (1)	8 (1)	6 (1)	32 (4)
短報	31 (6)	15 (3)	11 (3)	7 (1)	20 (3)	…	84 (16)	10 (2)	13 (2)	9 (2)	4 (1)	36 (7)
病害短信	3 (1)	10 (3)	12 (3)	7 (2)	12 (3)	4 (1)	48 (13)	…	…	…	…	0
論文総ページ	88 (12)	76 (12)	52 (10)	66 (9)	93 (11)	56 (6)	431 (60)	19 (3)	22 (3)	17 (3)	16 (3)	74 (12)
講演要旨 (会長・受賞者)	…	…	…	…	…	25 (7)	25 (7)	…	…	19 (7)	…	19 (7)
講演要旨 (平成25年度大会)	…	…	…	…	…	…	…	…	…	101	…	101
講演要旨 (平成24年度部会)	…	…	…	…	…	…	…	55	…	…	…	55
本会記事	…	…	…	…	…	…	…	5	18	…	2	25
その他	…	…	…	2	1	3	6	1	2	1	4	8
計	88 (12)	76 (12)	52 (10)	68 (9)	94 (11)	84 (13)	462 (67)	80 (3)	42 (3)	138 (10)	22 (3)	282 (19)
[ページ数外]												
大会案内・お知らせ	…	…	…	…	…	…	…	10	6	2	4	22
会則・規定	…	…	…	…	…	…	…	18	…	…	…	18
学会ニュース	…	…	…	…	…	…	…	5	6	11	7	29
その他	…	…	…	…	2	…	2	13	12	9	17	51
計	0	0	0	0	2	0	2	46	24	22	28	120
[総計]	88	76	52	68	96	84	464	126	66	160	50	402

* () 内は論文数

II-2. 平成 26 年度会務案

1. 行事案

- (1) 学会創立 100 周年記念式典, 記念講演, 記念シンポジウムおよび祝賀会を開催する。
平成 27 年 3 月 28 日, 明治大学駿河台キャンパス・東京ドームホテル (千代田区)
- (2) 学会報 (英文誌第 80 巻第 1~6 号, 和文誌第 80 巻第 1~4 号および特別号) を発行する。
- (3) 大会, 部会, 談話会, 研究会等を開催する。
 - 1) 大会: 平成 26 年 6 月 2~4 日 札幌コンベンションセンター (札幌市)
 - 2) 北海道部会: 平成 26 年 10 月 16~17 日 かでる 2.7 (札幌市)
 - 3) 東北部会: 平成 26 年 9 月 25~26 日 いわて県民情報交流センター (盛岡市)
 - 4) 関東部会: 平成 26 年 9 月 11~12 日 宇都宮大学農学部 (宇都宮市)
 - 5) 関西部会: 平成 26 年 9 月 27~28 日 富山大学五福キャンパス (富山市)
 - 6) 九州部会: 平成 26 年 11 月 12~13 日 ジェイドガーデンパレス・サンプラザ天文館 (鹿児島市)
 - 7) 第 14 回植物病原菌類談話会: 平成 26 年 6 月 4 日 札幌コンベンションセンター (札幌市)
 - 8) 第 13 回バイオコントロール研究会: 平成 26 年 6 月 5 日 北海道大学学術交流会館 (札幌市)

- 9) 第 24 回殺菌剤耐性菌研究会シンポジウム: 平成 26 年 6 月 5 日 北海道大学クラーク会館 (札幌市)
- 10) 第 10 回植物病害診断教育プログラム: 平成 26 年 8 月 25~29 日 弘前大学農学生物科学部 (弘前市)
- 11) 第 49 回植物感染生理談話会: 平成 26 年 8 月 6~8 日 作並温泉鷹泉閣岩松旅館 (仙台市)
- 12) 土壌伝染病談話会: 平成 26 年 9 月 24~25 日 いわて岩手県民情報交流センター (盛岡市)
- 13) 第 8 回植物病害診断研究会: 平成 26 年 9 月 26~27 日 富山大学五福キャンパス (富山市)
- 14) EBC 研究会ワークショップ 2014 (第 10 回): 平成 26 年 10 月 1 日 JA ビル (千代田区)
- 15) 第 26 回植物細菌病談話会: 平成 26 年 10 月 9~10 日 岡山空港温泉レスパール藤ヶ鳴 (岡山市)
- 16) 第 3 回日韓合同シンポジウム: 平成 26 年 10 月 23~24 日 プギョン大学 (大韓民国プサン市)
- 17) 第 5 回アジア植物病理学会: 平成 26 年 11 月 3~6 日 タイ国チェンマイ市
- (4) 学会賞, 学術奨励賞, 論文賞等の選考を行う。
- (5) 大会において学生優秀発表賞の選考を行う。
- (6) 名誉会員, 永年会員の推挙を行う。
- (7) 平成 27 年度副会長の選挙を行う。
- (8) その他
- ※平成 27 年度大会: 平成 27 年 3 月 29~31 日 明治大学駿河台キャンパス (千代田区)

2. 平成 26 年度一般会計予算書 (案) (平成 26 年 1 月 1 日から平成 26 年 12 月 31 日まで)

(単位: 円)

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減
I 事業活動収支の部			
1. 事業活動収入			
会費収入	21,704,000	22,187,000	△ 483,000
正会員会費収入	12,810,000	12,695,000	115,000
学生会員会費収入	1,250,000	1,770,000	△ 520,000
学部生会員会費収入	10,000	20,000	△ 10,000
外国会員会費収入	189,000	162,000	27,000
準会員会費収入	1,995,000	2,040,000	△ 45,000
賛助会員会費収入	5,450,000	5,500,000	△ 50,000
会報刊行収入	8,410,000	6,010,000	2,400,000
頒布収入	2,750,000	350,000	2,400,000
広告料収入	160,000	160,000	0
著者負担金収入	5,500,000	5,500,000	0
事業収入	15,371,100	15,072,220	298,880

大会収入	8,500,000	8,000,000	500,000
部会収入	2,959,100	3,084,100	△ 125,000
談話会・研究会収入	3,112,000	3,388,120	△ 276,120
教育プログラム収入	800,000	600,000	200,000
研究成果公開促進費収入	2,500,000	2,600,000	△ 100,000
雑収入	220,000	640,000	△ 420,000
預金利息収入	40,000	40,000	0
雑収入	180,000	600,000	△ 420,000
事業活動収入計	48,205,100	46,509,220	1,695,880
2. 事業活動支出			
会報刊行費支出	21,000,000	22,000,000	△ 1,000,000
印刷製本費支出	16,000,000	17,200,000	△ 1,200,000
編集費支出	5,000,000	4,800,000	200,000
事業支出	18,436,071	18,331,358	104,713
大会支出	9,500,000	9,000,000	500,000
部会支出	3,947,100	3,974,100	△ 27,000
談話会・研究会支出	3,688,971	4,257,258	△ 568,287
教育プログラム支出	1,300,000	1,100,000	200,000
学術奨励関係費支出	1,330,000	1,330,000	0
国際学術交流費支出	300,000	300,000	0
情報電子化費支出	1,264,370	1,700,000	△ 435,630
HP 充実費支出	420,000	360,000	60,000
情報維持費支出	844,370	1,340,000	△ 495,630
男女共同参画支援費支出	200,000	200,000	0
負担金支出	682,000	750,000	△ 68,000
JABEE 負担金支出	50,000	50,000	0
農学会負担金支出	132,000	150,000	△ 18,000
国際植物病理学会負担金支出	300,000	300,000	0
日本微生物学連盟負担金支出	100,000	100,000	0
国際植物保護学会負担金支出	50,000	50,000	0
植物保護科学連合負担金支出	50,000	100,000	△ 50,000
事業運営費支出	2,400,000	2,400,000	0
会議費支出	750,000	750,000	0
旅費交通費支出	1,500,000	1,500,000	0
各種委員会関係費支出	150,000	150,000	0
管理費支出	4,984,000	4,960,000	24,000
通信運搬費支出	500,000	500,000	0
消耗品費支出	200,000	200,000	0
事務管理費支出	3,334,000	3,310,000	24,000
印刷費支出	300,000	300,000	0
外部監査管理費	150,000	150,000	0
雑支出	500,000	500,000	0

100周年記念事業支援金支出	14,000,000	2,000,000	12,000,000
事業活動支出計	64,596,441	53,971,358	10,625,083
事業活動収支差額	△16,391,341	△7,462,138	△8,929,203
II 投資活動収支の部			0
1. 投資活動収入			0
特定資産取崩収入	12,600,000	2,500,000	10,100,000
学術事業安定化基金 取崩収入	5,000,000	2,500,000	2,500,000
100周年記念事業特別基金取崩収入	7,600,000	0	7,600,000
投資活動収入計	12,600,000	2,500,000	10,100,000
2. 投資活動支出			
特定資産取得支出	0	0	0
投資活動支出計	0	0	0
投資活動収支差額	12,600,000	2,500,000	10,100,000
III 財務活動収支の部			
当期収支差額	△3,791,341	△4,962,138	1,170,797
前期繰越収支差額	4,608,707	5,341,013	△732,306
次期繰越収支差額	817,366	378,875	438,491

3. 学会報編集計画案

(1) 編集機関

学会誌第80巻の編集は、英文誌 (Journal of General Plant Pathology), 和文誌 (日本植物病理学会報 Japanese Journal of Phytopathology) とともに下記のように鹿児島大学にて行う。

編集事務局：鹿児島大学農学部

編集委員長：岩井 久 (鹿児島大学)

副委員長：大島一里 (佐賀大学)

編集幹事長：中村正幸 (鹿児島大学)

印刷：英文誌 シュプリンガー・ジャパン (株)

和文誌 中西印刷 (株)

発行日：英文誌 1号1月, 2号3月, 3号5月,
4号7月, 5号9月, 6号11月

和文誌 1号2月, 2号5月, 3号8月,
4号11月, 特別号11月

(2) 投稿要領

原稿は投稿規定・細則に従って作成し、和文誌については、編集委員長 (〒890-0065 鹿児島県鹿児島市郡元1-21-24 鹿児島大学農学部 岩井 久) あて送付すること。

英文誌については、ウェブサイト <https://www.editorialmanager.com/jgpp/> にアクセスして投稿すること。

平成26年度役員および委員

会長 土屋健一

副会長 寺岡 徹

評議員 (◎常任)

北海道地区 ◎近藤則夫 田中文夫 増田 税

東北地区 ◎吉川信幸 佐野輝男 高橋英樹
古屋廣光

北関東地区 ◎對馬誠也 ◎夏秋知英 渡邊 健
阿久津克己 津田新哉 畔上耕児
月星隆雄 青木孝之

南関東地区 ◎有江 力 ◎難波成任 夏秋啓子
根岸寛光 桑田 茂 濱本 宏
平塚和之 宇垣正志 北 宜裕

中部地区 ◎瀧川雄一 柘植尚志 百町満朗
景山幸二 高松 進 川北一人

近畿地区 ◎相野公孝 奥野哲郎 土佐幸雄
大木 理 久保康之

中国・四国地区 ◎秋光和也 一瀬勇規 曳地康史
西口正通 児玉基一郎 荒瀬 榮

九州地区 ◎土屋健一 大島一里 岩井 久
平八重一之

会長指名 廣岡 卓 長谷川裕 石黒 潔
金山晋治 松永 礼 森田健二
富岡啓介 中島 隆 田代暢哉
高橋賢司 寺岡 徹

会計監査 夏秋啓子 桑田 茂 平塚和之

原著編集委員 (◎委員長, ○副委員長)

◎岩井 久 ○大島一里 有江 力
 Bogdanove, A.J. Coffey, M.D.
 藤 晋一 古屋成人
 Inoue-Nagata, A.K. 岩波 徹
 Jung, H.-Y. 景山幸二 兼松聡子
 川口 章 小林括平 児玉基一郎
 近藤則夫 Murray, T.D. 中屋敷均
 夏秋知英 大島研郎 Pappu, H.R.
 笹谷孝英 鈴木文彦 豊田和弘
 津下誠治 月星隆雄 Walsh, J.A.
 Wirsel, S.G.R. 吉岡博文 Yun, S.-H.

賞選考委員 (◎委員長)

◎土屋健一 寺岡 徹 高橋英樹
 對馬誠也 夏秋啓子 吉川信幸
 瀧川雄一

功績者推薦委員 (◎委員長)

◎奥野哲郎 濱本 宏 寺岡 徹
 津田新哉

選挙管理委員 (◎委員長)

◎平塚和之 濱本 宏 北 宜裕

病名委員 (◎委員長)

◎富岡啓介 安部恭久 青木孝之
 荒城雅昭 井上康宏 石川浩一
 岩井 久 大木 理 門田育生
 近藤則夫 窪田昌春 佐藤豊三
 佐橋憲生 佐藤 衛 菅原 敬
 須崎浩一 瀧川雄一 竹内 純
 田中文夫 月星隆雄 夏秋啓子
 森脇丈治 吉田重信

幹 事

庶務幹事長 有江 力
 庶務副幹事長 宇垣正志
 庶務幹事 奥田 充 松下陽介
 会計幹事 大里修一
 副会計幹事 前島健作
 編集幹事長 中村正幸
 編集幹事 福元智博 草場基章 松元 賢
 小川哲治 大貫正俊 大城 篤
 塩谷 浩 田場 聡 竹下 稔
 田代暢哉 富濱 毅 富村健太
 山口純一郎 山崎修一 吉田政博

専門委員会 (◎委員長)

100周年記念事業実行委員会

◎難波成任 秋光和也 有江 力
 藤田佳克 日比忠明 百町満朗
 石黒 潔 岩井 久 近藤則夫
 桑田 茂 眞山滋志 夏秋知英
 根岸寛光 大島一里 奥野哲郎
 佐野輝男 白石友紀 高橋賢司
 土屋健一 對馬誠也 上田一郎
 山次康幸 吉川信幸

100周年記念式典等運営委員会

◎難波成任 有江 力 藤田佳克
 濱本 宏 橋本将典 平塚和之
 廣岡 卓 柿澤茂行
 キム オッキョン 北 宜裕
 小松 健 桑田 茂 松永 礼
 三富正明 宮田伸一 森山裕充
 中島雅己 中島 隆 夏秋知英
 夏秋啓子 根岸寛光 西尾善太
 大里修一 大島研郎 高垣真喜一
 津田新哉 對馬誠也 宇垣正志
 宇佐見俊行 渡辺京子 山次康幸
 吉田重信

学会ニュース編集委員会

◎高橋賢司 有江 力 宇垣正志
 宇賀博之 奥田 充

植物ウイルス分類委員会

◎吉川信幸 畑谷達児 石川浩一
 難波成任 中野正明 大木 理
 大島一里 鈴木信弘 津田新哉
 藤 晋一

国際化対応委員会

◎夏秋啓子 柘植尚志 濱本 宏
 佐野輝男 吉川信幸 宇垣正志
 近藤則夫

将来問題検討委員会

◎難波成任 寺岡 徹 宇垣正志
 前島健作 北 宜裕 夏秋知英
 柘植尚志 土佐幸雄 瀧川雄一

教育プログラム推進委員会

◎寺岡 徹 濱本 宏 石黒 潔
 石川成寿 小松 健 根岸寛光
 津田新哉 對馬誠也

技術士対応委員会

◎難波成任 桑田 茂 宇垣正志
 中保一浩 濱本 宏 小松 健

大島研郎 白石俊昌
 5 学会技術士育成推進委員会
 ◎難波成任 桑田 茂 中保一浩
 大島研郎 濱本 宏
 JABEE 対応委員会
 ◎桑田 茂 増田 税 高橋英樹
 夏秋知英 宍戸雅宏 根岸寛光
 寺岡 徹 瀧川雄一 古賀博則
 大木 理 土佐幸雄 豊田和弘
 大島一里 岩井 久

男女共同参画学協会連絡会

夏秋啓子

部会長

北海道部会長 田中文夫
 東北部会長 高橋英樹
 関東部会長 夏秋知英
 関西部会長 川北一人
 九州部会長 田代暢哉

日本学術会議・日本農学会・国際学会等の委員

日本学術会議連携会員 上田一郎 白石友紀
 柘植尚志 夏秋啓子

植物保護科学連合運営委員会 有江 力 夏秋啓子

日本微生物学連盟副理事長 上田一郎

日本微生物学連盟 監事 柘植尚志

日本農学会 評議員 土屋健一 寺岡 徹

運営委員 有江 力

財団法人農学会 農学技術者教育推進委員会

桑田 茂

国際微生物連合 (IUMS)

対応委員 一瀬勇規

プログラム委員 宍戸雅宏

ウイルス分類委員 吉川信幸

細菌命名委員 瀧川雄一

国際植物保護会議委員 寺岡 徹

国際植物病理学会 (ISPP)

Council Members

寺岡 徹 秋光和也 土屋健一

夏秋知英 高橋英樹

Correspondent for Newsletter 岩井 久

Members of Committee

Bacteriology 土屋健一

Chemical Control 石井英夫

Epidemiology 大藤泰雄

Forest Pathology 鈴木和夫

Fusarium 青木孝之
 Phytophthora 東條元昭
 Rhizoctonia 荒川征夫
 Seed Pathology 加来久敏
 Soilborne Plant Pathogens 宍戸雅宏
 Taxonomy of Plant Pathogenic Bacteria 瀧川雄一
 アジア植物病理学会 (AASPP)
 Council Member 夏秋啓子

平成 26 年度大会運営委員会

大会委員長: 増田 税

大会副委員長: 近藤則夫

プログラム委員長: 畑谷達児

会 計: 犬飼 剛

総 会 担 当: 中原健二

受 付 責 任 者: 眞岡哲夫

スライド受付責任者: 松村 健

学生優秀賞担当: 曾根輝雄

懇 親 会 担 当: 志村華子

運 営 委 員:

秋野聖之 池田幸子 上田重文 大木健広

岡田 貴 小倉玲奈 小澤 徹 小松 勉

佐々木純 佐山 充 清水基滋 白井佳代

新村昭憲 角野晶大 相馬 潤 田中文夫

長浜 恵 中山尊登 西脇由恵 野津あゆみ

福澤徳穂 藤根 統 古田和義 堀田治邦

松尾幸毅 三澤知央 美濃健一 山名利一

(50 音順)

II-3. 会則・規程の改正 (案)

改正する事項について、概要を記し、関連する会則・規程を示した。条文の具体的な改正については、新旧対照表に記した。

本会関連学会および団体等委員推薦規程に関する改正

日本農学会の運営委員減員への対処 (本会関連学会および団体等委員推薦規程 1)

「運営委員には庶務幹事長をあてる。」

新旧対照表

改正後	現行
本会関連学会および団体等委員推薦規程 1. 本会関連の各種学会および団体の各種委員等の本会からの推薦にあたっては、それらの選出方法あるいは任期を下記のとおりとする。 (1) 日本農学会の評議員には会長および副会長、運営委員には庶務幹事長をあてる。	本会関連学会および団体等委員推薦規程 1. 本会関連の各種学会および団体の各種委員等の本会からの推薦にあたっては、それらの選出方法あるいは任期を下記のとおりとする。 (1) 日本農学会の評議員には会長および副会長、運営委員には庶務幹事長および庶務副幹事長をあてる。

日本農学会の規約変更により、運営委員定数が全学会とも1名とされたための変更。
下線部分を削除。

総会において、上記の、平成25年度会務報告、平成26年度会務案、会則・規定の改正(案)はすべて承認された。

III. 平成26年度第1回日本農学会運営委員会議事録

日時：平成26年3月5日(水)15時00分～16時10分

場所：東京大学農学部3号館4階 大会議室

出席者：三輪睿太郎会長、會田勝美副会長、西澤直子副会長、峯 洋子(園芸)、酒井敦章(砂防(代))、矢部和弘(シス農)、松下範久(樹医)、岡田憲典(植調)、岩田洋佳(育種)、松木順子(応糖科(代))、日本典秀(応動昆)、鴨下頭彦(作物)、勝間 進(蚕糸)、嶺田拓也(雑草)、根岸寛光(植病)、小島克己(森林)、塩出大輔(水工)、安永円理子(生環工)、大黒俊哉(造園)、山内啓太郎(畜産)、大塚重人(土肥)、坂本一憲(土微)、横山 仁(気象)、迫田登稔(経営)、渡邊秀典(農化)、杉浦幸二(繁殖)、中嶋康博(フード)、五十嵐圭日子(木材(代))、牧野義雄(農食工)、荒木徹也(農施)、中村典裕(農情)、吉田修一郎(農村工)、重岡 徹(農計)、井上雅文(木質/木材加工(代))、黒住圭子(事務担当)

欠席者：土田志朗(実農)、吉本 敦(森計)、大貫靖浩(森林立)、矢沢勇樹(海水)、太田能之(家禽)、山田隆一(国地開)、山田智(砂丘)、高橋新平(芝草)、金井克晃(獣医)、木下滋晴(水産)、石川尚人(草地)、野村こう(動遺育)、真田篤史(熱能)、荒幡克己(経済)、仲下英雄(農薬)、林 久喜(農作)、大倉利明(ペドロ)、山本伸幸(林経)

議長：三輪会長

議事：

1. 役員交代について
2. 平成26年度第1回日本農学会評議員会報告
3. 平成26年度(第85回)日本農学会準備状況
4. 平成26年度シンポジウム準備状況
5. 出版関連準備状況
6. 平成27年度シンポジウムテーマ募集について
7. その他

配布資料

1. 平成25年度第3回運営委員会議事録(案)
2. 平成26年度第1回評議員会議事要旨
3. 平成25年度会計書類
4. 平成26年度(第85回)日本農学会大会プログラム(案)
5. 平成26年度日本農学会シンポジウム実施(案)
6. 平成25年度日本農学会シンポジウム成果概要出版について
7. 平成27年度日本農学会シンポジウムテーマ募集
8. 平成26年度日本農学会役員一覧
9. 日本農学会規則(改訂版)
10. 常任委員割り当て表

議事1. 常任委員交代について

新役員交代に伴い、三輪睿太郎会長、西澤直子・會田勝美副会長から挨拶があった。

続いて常任委員の大黒俊哉(庶務担当)、大塚重人(企画担当)、吉田修一郎(会計担当)から挨拶があった。新任委員3名の矢沢勇樹(庶務担当)、山田隆一(企画担当)、太田能之(会計担当)は欠席のため大黒庶務担当常任委員から紹介があった。

平成25年度第3回運営委員会議事録について承認された。

議事2. 平成26年度第1回日本農学会評議員会報告

大黒庶務担当常任委員より資料に基づき報告があった。

・役員改選に伴い、会長、副会長・監査委員に清水誠(日本農芸化学会)、丹下健(森林立地学会)が選出された。日本農学賞決定の報告。

吉田会計担当常任委員会から、25年度会計報告(収支計算書・予算書)があった。

大黒庶務担当常任委員から、監査委員より繰越金の取扱について使途を明確にして積み立てる等の対応を検討するよう指摘された旨報告があった。今後常任委員会で検討していく。

議事3. 平成26年度(第85回)日本農学会準備状況

大黒庶務担当常任委員より資料に基づき説明があり、配布したポスター等を掲示いただき多くの方に参加していただくよう周知にご協力のお願があった。

議事 4. 平成 26 年度シンポジウム準備状況

大塚企画担当常任委員より実施案について説明があった。企画委員会で、テーマが「ここまで進んだ！飛躍する農学」に決定。講演は 9 題、講演者が決定した旨報告があり、了承された。講演順については口頭で説明があった。大黒庶務担当委員から集客の方法についてご提案のお願いがあった。

議事 5. 出版関連準備状況

大黒庶務担当常任委員より資料に基づき進行状況などの説明があった。

4 月 5 日に開催される日本農学大会に合わせ出版、購入検討のお願いがあった。

4 月より消費税が変わるが、今期出版の本は定価 2,000 円になるように本体価格を設定する。

議事 6. 平成 27 年度シンポジウムについて

大黒庶務担当常任委員より平成 27 年度テーマ募集について、加盟学協会事務局に依頼することに関しての説明があり、日本農学会が取り組むべきテーマについて、多くの学協会に提案してもらいたいとのお願いがあった。

議事 7. その他

○日本農学会規則について

評議員会後の若干の修正があるがその部分を修正することで承認されているので、修正を加えて規則を最終決定とする旨報告があった。

運営委員より修正 1 点を指摘されこれを修正して規則は評議員会開催日にさかのぼって実施することで了承された。

○今後の会議について下記日程で開催の報告があった。

第 2 回運営委員会 9 月 8 日 (月) 15:00～

第 3 回運営委員会 12 月 8 日 (月) 15:00～

平成 27 年度第 1 回評議員会 平成 27 年 1 月 23 日 (金) 10:00～

○出版書の消費税についての質問があった。出版書については養賢堂が収めているので日本農学会は関与してない旨説明があった。

○農学会役員一覧・常任委員割当て表について説明があった。

○三輪会長より

- ・昨年日本版 NIH についての要望書を提出したが、今後も日本農学会は農学の集合体としてそのような活動を推進していきたい。どんどん日本農学会を利用していただきたい。
- ・日本学術会議において、分野横断型重点研究として「復興農学」を提案している。採択された際にはご協力をお願いしたい。
- ・日本農学賞については、授賞されなかった方は何度も挑戦していただきたい。また、年齢は若いのが今勢いがある研究者のご推薦も考えていただきたい等のお願いがあった。